富山市プロモーション映像
「AMAZING TOYAMA ～この地を選んだ理由～」

Amazing Toyama

▲動画はこちら

異なる分野で活躍する５人が、地域の魅力や豊かさを伝えます。（３月20日㈷～４月５日㈪限定公開）

若い漁師の結束力

漁師
水野勝也（みずのかつや）さん（水橋漁民合同組合）

トラックの運転手をしていたとき、若い世代が中心となって活躍している水橋漁民合同組合の話を聞いたことがきっかけで、漁師だった祖父の仕事に就こうと思いました。定置網漁業は、一人ではできません。誰一人欠けることのできない、このチームでの漁が僕は楽しくて仕方ありません。

立山に魅せられて

登山ガイド
大塚憲一（おおつかけんいち）さん（㈱Travearth）

学生時代に研究で何度も足を運んだ立山連峰はいつ来ても感動します。地元の東京に帰った後は、ツアーコンダクターや人力車など観光に携わる仕事を経験しました。しかし、立山の魅力を伝えたいという思いから、登山ガイドになることを決意し、この地に帰ってきました。

人の心に残る花火を

花火師
大橋智子（おおはしともこ）さん（㈲マツダ）

一度は名古屋市の企業に勤めていましたが、帰省した際に父が手掛けた年末の音楽花火を見たことで、改めて花火の持つ美しさや見る人の心を動かす力を感じました。富山の自然環境で作り出せる演出は無限大です。父と共に打ち上げる花火で多くの笑顔を生み出していきたいです。

ここにしかない食材

料理人
田中裕信（たなかひろのぶ）さん（キッチン花水木）

プロスケーターとして国内外で生活していたときに、料理ができれば世界中どこでも働けることを身を持って感じたことから、料理人となることを決心しました。富山は四季がはっきりしていて、海と山も近く、日本中探してもここにしかない食材の宝庫です。自分の料理で富山の魅力がいろんな人に伝わるといいなと思います。

文化に寄り添う

ガラス作家
ピーター・アイビーさん（流動研究所）

富山で暮らし、米や野菜など、自分のものは自分でつくる近所の方の姿を見て、とても感心しました。アメリカではガラスのオブジェを多く制作していましたが、近所の方からいただく野菜を美しく保存するための瓶やお皿など、富山に住んでからは生活で使えるものを意識して制作するようになりました。夢は、自分の技術が何世代にも継承されること。ガラス文化が地域により身近になればいいと思います。

問広報課　☎443－2018

富山市の人口・世帯数（対前月比）【令和３年２月28日現在】人口…413,459人（－386人）　世帯…181,538世帯（－139世帯）

広報とやまは環境に配慮し、古紙パルプ配合紙と植物油インキを使用しています。

広報とやま　令和３年３月20日号

発行　富山市　〒930-8510 富山市新桜町７番38号
編集　企画管理部広報課　☎076（431）6111（代表）

ホームページ　https://www.city.toyama.toyama.jp/
広報とやま、富山市公式Facebook、Twitter、Instagramはこちら→